

# はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



## エピペン



### <アナフィラキシー>

アナフィラキシーとは、食物(鶏卵, 牛乳, 小麦, そば, ピーナッツなど), 薬物(抗生物質, 非ステロイド消炎鎮痛剤, 抗ガン剤, ワクチン, 造影剤など), ハチ毒(スズメバチ, アシナガバチ, ミツバチ)などが原因で起こる即時型アレルギー反応の総称です。

皮膚(発赤, かゆみ, じんましんなど), 呼吸器(息苦しさ, 口腔のかゆみや違和感, 呼吸困難, 喘鳴, くしゃみなど), 消化器(嘔吐, 腹痛, 下痢など), 循環器(血圧低下, 動悸など), 神経(意識障害など)など多臓器に症状が現れ, ときにショックを引き起こします。こうした生命をおびやかす危険な状態をアナフィラキシーショックと呼びます。



### <エピネフリンの投与>

全身性アナフィラキシーあるいはアナフィラキシーショックが起きた場合には, エピネフリンの注射が必要になります。

ハチ毒アナフィラキシーにおけるエピネフリンの効果を検討したところ, ハチ刺傷からエピネフリン投与までの時間が短いほど救命率が高くなることが明らかになっています。

アナフィラキシーが急速に進行してショックに至るような場合には, 医療機関に搬送してから処置をしていたのでは間に合いません。



### <エピペン>

現在, エピネフリン自己注射キット「エピペン」が発売されており, 食物, 薬物, ハチ毒などによるアナフィラキシーの補助治療剤として適応が認められています。過去にアナフィラキシーショックに陥ったことがある方はあらかじめ医療機関で処方を受け, 携帯した方がよいでしょう。

「エピペン」は, あらかじめ注射針, 容器, 薬液が一体となっており, 使用時に安全キャップをはずし, 大腿部外側に押し当てるだけでエピネフリンの投与が可能です。薬液は一定量しか注入できないように設計されており, 過量投与の心配はありません。衣服の上からでも投与できる構造設計になっています。詳しくは, 「エピペンホームページ: <http://epipen.jp/index.html>」をお読みください。

「エピペン」は講習を受けた医師がいる医療機関で処方を受けることができます。「アナフィラキシー医療機関リスト: <http://www.anaphylaxis.jp/list/index.html>」に処方可能な医療機関が掲載されており, 当院も登録されています。必要な方はご相談ください。